

◆震災後、初めて
自分の事で泣いた
～蛇田店コンサート

「演奏を聴いて、震災以降初めて、自分の事で泣きました」と、「世界一楽しいタクトの音楽祭 in 石巻」を企画したみやぎ生協理事の大和きよ子さん。特に、客席と一緒に歌った日本の唱歌「ふるさと」は胸に迫るものがあったそうです。

「ずっと忙しかったのですが、泣くことで癒やされました。客席には立ち見を含めて100人を超えるお客さまがいらっしゃいました。8割以上は被災された方です。こういう時間は貴重ですね」

みやぎ生協・蛇田店では大和さんたちの企画で毎週木曜日の午後「オープン・カフェ」も開かれ、コーヒーやお菓子と共にゆっくりできる時間を提供しています。「ここで学生時代の同級生と再会したとか、そんなお話もあるんですよ。生協のメンバー（組合員）で良かったと本当に思いますね。全国の生協の皆さんからも物心両面での励ましをいただいて、勇気付けられました。失ったものは多過ぎるけど、得たものもたくさんあります」



大和 きよ子 理事

みやぎ生協コンサート・時に拍手喝采、時に涙

9月11日、みやぎ生協・蛇田店（石巻市）では、「世界一楽しいタクトの音楽祭 in 石巻」を開催、立ち見が出るほどの盛況ぶりでした。著名指揮者の形態模写で有名な好田タクトさんの指揮、バイオリンの早川きょーじゅさん、斎藤昌彦さん、フルートの村野直子さん、エレクトーンのさとうりょうさん



観客からのリクエストに応え、「アメイジング・グレイス」も演奏。

の各氏による、時にユーモラスな演奏に拍手喝采です。宮城の樽漕ぎ歌「斎太郎節」や唱歌「ふるさと」は客席の皆さんも一緒に歌いました。

司会を務めた、みやぎ生協ボランティアセンターの須藤敏子さんは、「ふだんのくらしに戻るには長い時間がかかります。音楽で笑ったり泣いたりしていただくのもいいですよ」と話していました。

蛇田店では今年6月11日に、昨年のNHK紅白歌合戦出場者であるクミコさんや宮城県出身の歌手・かの香織さん、仙台のFM局でパーソナリティを務める歌手のEPOさんを招いてのコンサートも開いています。

発災から半年、店舗職員全員で黙とう



復興記念タオルを広げる千葉店長。



レジで記念タオルを受け取るメンバー。

同じ9月11日、みやぎ生協・榴岡店（仙台市）では、復興記念セールが行なわれました（みやぎ生協全店で開催）。発災以来初となる「2,000円以上のお買い上げでポイント7倍」に加え、記念タオルを先着1,000名様にプレゼント。小雨の降る中、いつもより1時間早い朝9時のオープン時から、たくさんのメンバー（組合員）でにぎわいました。

「榴岡店は、震災の影響で店舗施設の復旧工事のために4カ月半お休みしていました。7月27日に改修オープンでき、少しずつ復興しています。長い休業でしたが、オープン日には予想以上のメンバーさんに来ていただき、本当に良かったと思っています」と千葉壽彦店長（写真左上）。

発災の翌日から5月の大型連休前まではお店の前で販売を続け、その後、お店は休業しての改修工事となりました。

「発災から半年を迎え、朝会では全員で黙とうを捧げました。大変な災害ですが、それだけに生協の持つ役割は大きいと実感しています。これからもメンバーさんのために頑張ります」

千葉店長を先頭に、榴岡店でも、復旧・復興へ向けての取り組みが始まっています。